

**体感治安アップで
“暮らしやすさ日本一のまち”へ**

同志社大学真山ゼミ



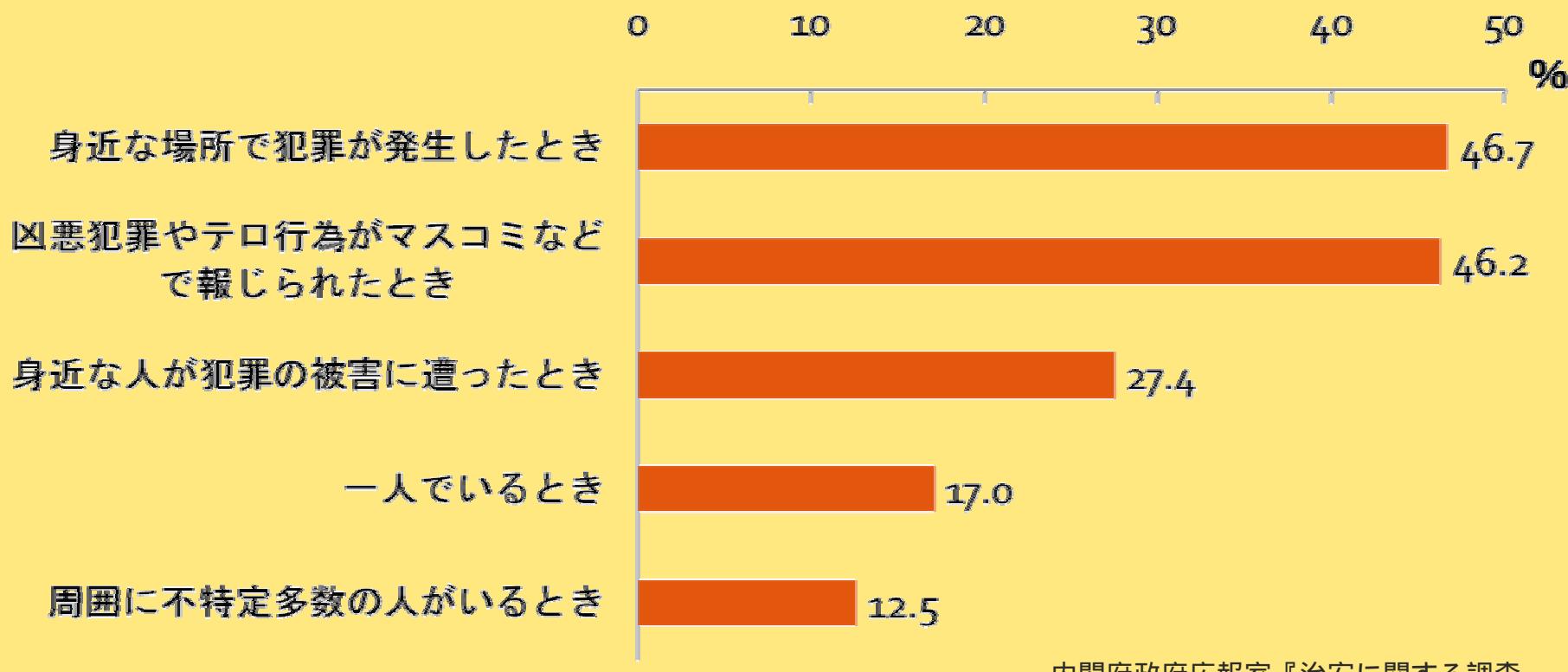
体感治安とは何か

<定義>

自分や自分の周囲の人たちが
犯罪にあう危険性を感じる度合い

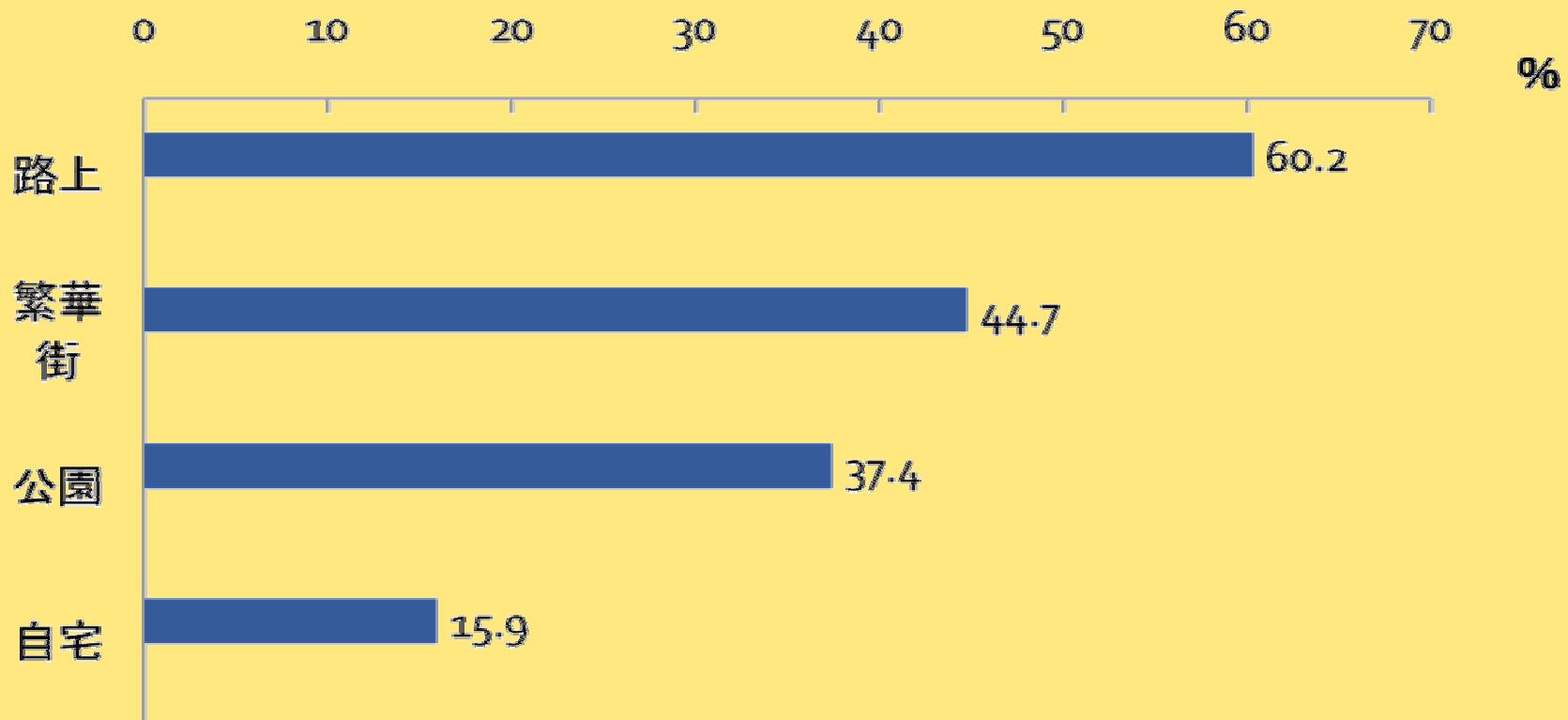


体感治安 : 不安になるとき



凶悪事件や身近な犯罪 犯罪を意識する

体感治安 : 不安になる場所



内閣府政府広報室『治安に関する調査』

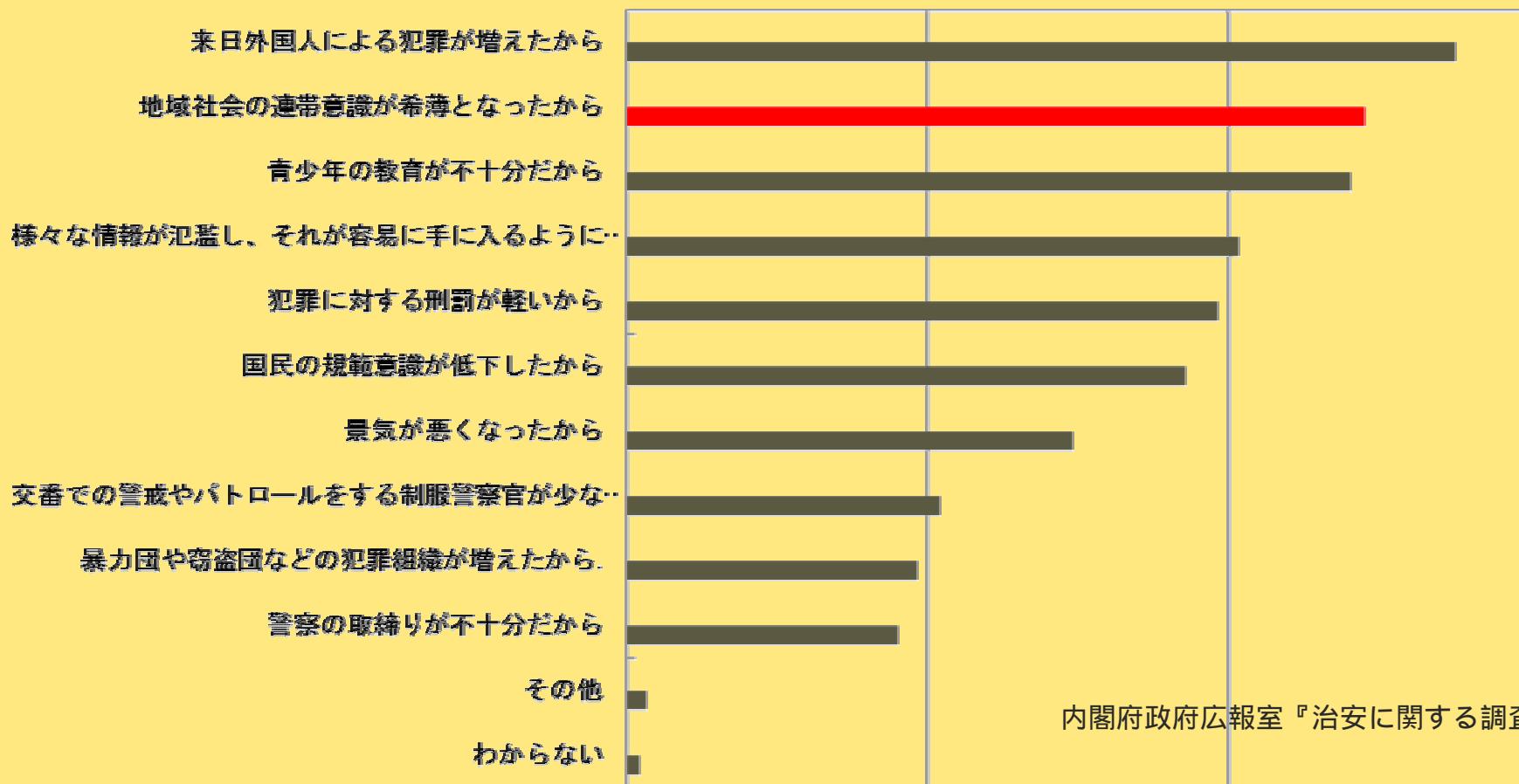
人通りの少ない道

人目がなく犯罪が起こりやすい



体感治安

：治安が悪くなる原因



内閣府政府広報室『治安に関する調査』

住民同士のつながりの薄さ

互いに知らないので不安感が増す

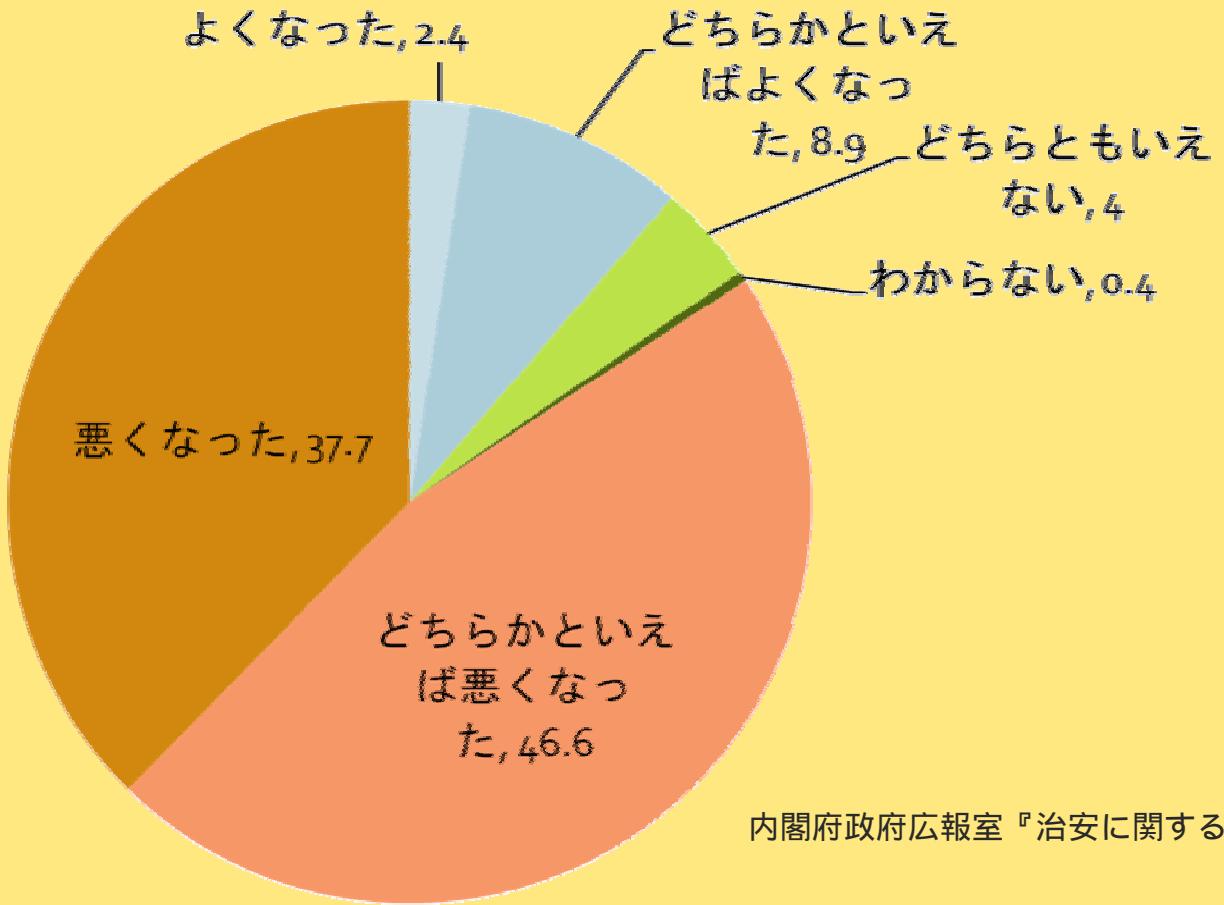
京田辺市の体感治安は・・・

- 人々の治安に対する認識の悪化（世論調査）
- 市内における犯罪発生件数の増加傾向（統計）
- 市内交番への相談件数の増加（ヒアリング）
- 市民の意向（市調査）
- 市職員の問題意識（市調査）



京田辺市でも体感治安は悪化している

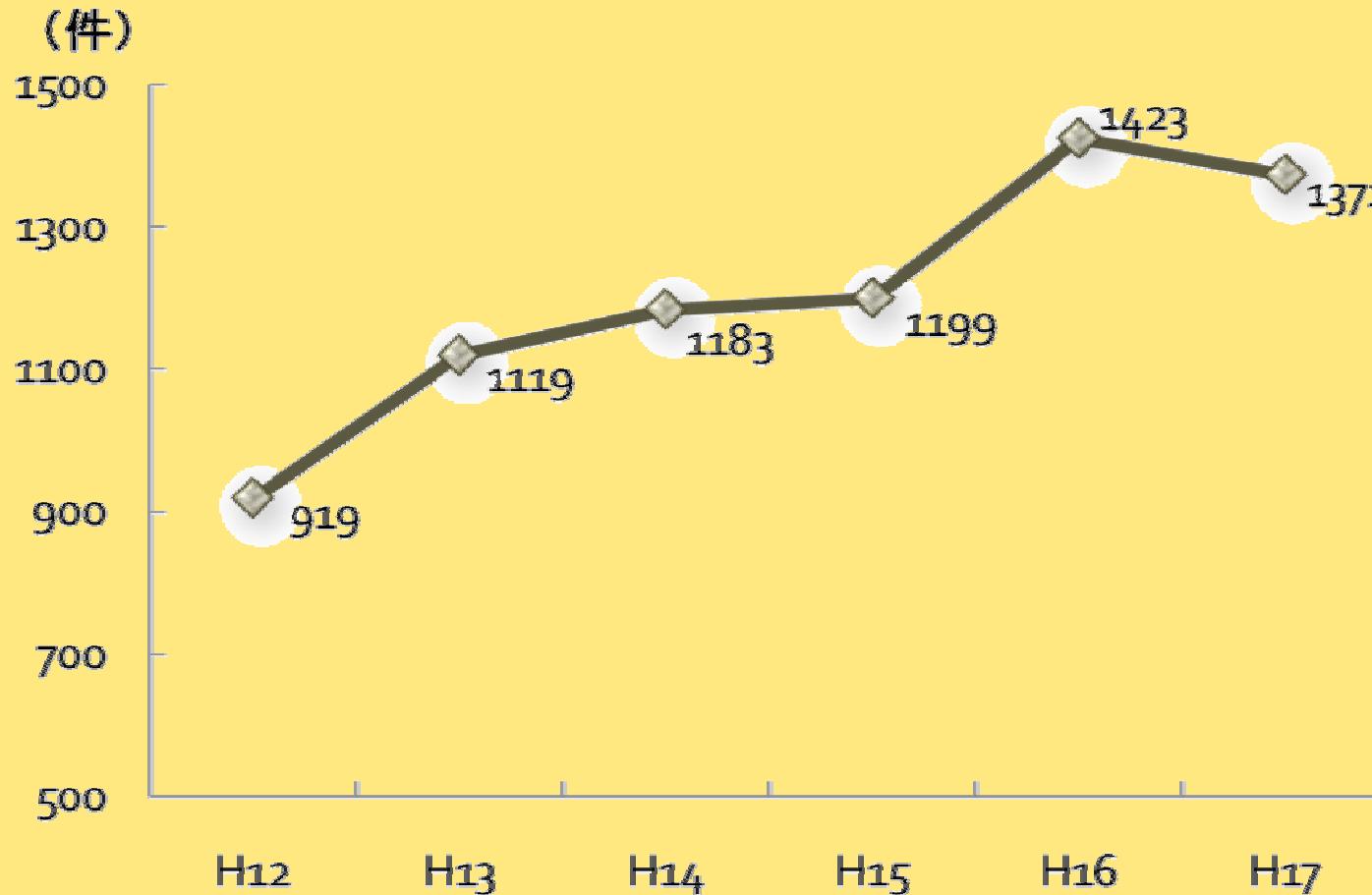
世の中の治安に対する認識



内閣府政府広報室『治安に関する調査』

「治安は悪くなった」が 8 割以上の認識

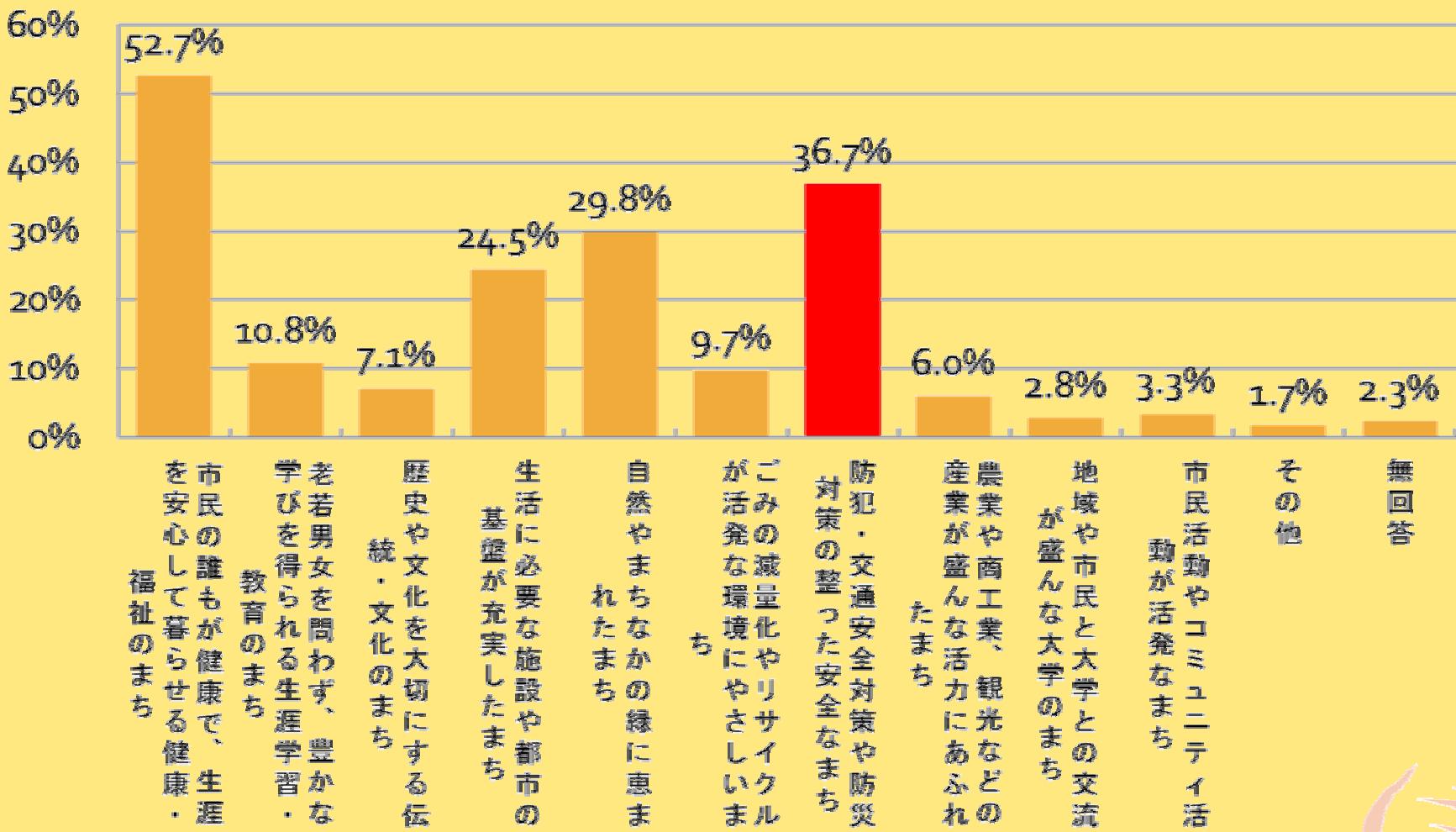
京田辺市の犯罪件数



京田辺市内の犯罪件数は増加傾向



京田辺市がどんなまちであってほしいか



市職員が見た京田辺の悪い面

住環境保全、悪化抑制
不法投棄、乱開発抑制
自然環境・里山・山林保全
景観、ユニバーサルデザイン

安全・安心への危惧
駅前等の防犯、マナー向上
バリアフリー化

交通環境の向上
駅前等の駐車・駐輪場確保
市内循環バスなど市内利便性の確保

産業の脆弱さ
新産業の育成、企業誘致
観光の産業化、歴史文化財の観光資源化

農業経営の環境変化
後継者、担い手の育成
新しい組織形態の検討
都市環境資源としての役割

京田辺文化の創出
学習拠点の設置
ソフト施策の展開
オリジナリティ・個性のPR

南部の地域づくり
三山木駅周辺のあり方
北部・中部との役割分担による南部地域全体の将来像

学研都市の再検討
新たな整備・事業手法の企画・検討
保留フレームの見直し

大学との連携強化
連携の強化
連携の体制づくり
大学、研究者、学生など多様な連携の可能性

市民参画への期待
ボランティア・NPO等の活発化、新住民の増加
コミュニティの変容

行政運営の見直し
評価の導入
組織機構の見直し
説明責任・情報提供の強化
職員の資質向上

将来の財政運営への不安
自主財源(税収)の確保
既存施設の効率運営
行財政改革の推進

現状

京田辺市における現在の取り組み

- 警笛の配布
- 防犯機器やステッカーの配布
- パトロール
- 校門の施錠
- 不審者情報のメール

= 防犯活動を中心



現状の問題点

防犯活動の問題点

防犯が必要な状態とは、体感治安が良くない
状態

対症療法的で根本的な解決になっていない

発想の転換が必要

地域の安全を見守る力が自然に生かされるよ
うな取り組みで、地域の体質改善をはかる



地域の体質改善のために

- 住民同士が知り合う
- 周辺への自然な目配り

それを実現するには
コミュニティビジネスが有効！！



コミュニティビジネスとは

- 地域住民による運営
- 営利目的ではない
- 交流の場となる
- 身近で、自然と立ち寄れる場
- 地域住民の自己実現の場

わたしたちが考える政策は
コミュニティカフェ「一休」

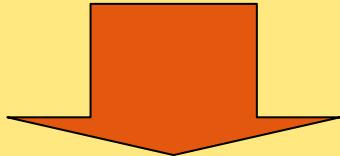


コミュニティカフェによる 体感治安向上

コミュニティカフェの内容

昼間…軽食、ランチ

夕方…配食サービス



- ・人がカフェに集まることにより交流の場が設けられ、住民同士のつながりが生まれる
- ・カフェへの移動、配食サービスにより人の往来が増え地域への自然な目配りができる

実現のために必要なもの

- 地域の協力者(やってみたい人や組織)
- 物理的な適地(場所、施設)



地域の協力者

- 料理サークル
クッキングパパ、悠炊会 etc...
- 配食ボランティア
やまびこ、あじさい etc...



物理的な適地

候補地

- 住民センター
- 山手公民館
- ふれあいセンター
- 田辺東商店街の空き店舗



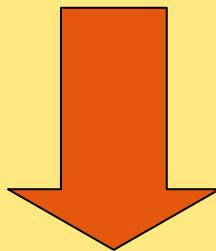
法例による規定

- 社会教育法
20条、22条、23条の規定
- 京田辺市立公民館の設置及び管理に関する条例
第5条3項

市の協力が得られれば可能



コミュニティが変われば
体感治安が上がる！



“暮らしやすさ日本一のまち”へ

